

平成22年度 学校評価アンケート集計表(生徒)

◆回答数 437名(回収率91.6%)

4 とてもそう思う 3 そう思う 2 あまりそう思わない 1 まったく思わない

		(表中の数字は%)			
		4	3	2	1
1	私は、学校が楽しい	41.9	40.7	13.0	4.1
2	私は、思いやり優しい気持ちで友達と仲良くできている。	26.1	60.2	12.6	0.9
3	私は、授業が楽しくわかりやすい。	10.1	39.6	36.8	13.3
4	先生は、質問や疑問にいていねいに応じてくれる。	21.7	47.6	22.9	7.6
5	先生は、自分のことを認めてくれる。	14.2	42.6	31.4	11.7
6	先生は、悩んだり困ったりしているとき力になってくれる。	25.2	36.6	27.0	11.0
7	先生は、命の大切さ、社会のルールを熱心に教えてくれる。	31.4	39.4	22.7	6.4
8	みんな、気持ちの良いあいさつをしている。	11.2	36.2	38.9	13.5
9	みんな、話す相手場所に応じた言葉づかいができています。	11.7	39.1	36.6	12.4
10	学校の決まりは守られている。	20.6	35.7	31.1	12.4
11	清掃が行き届き、整美されている。	14.0	34.6	37.8	13.5
12	授業体験活動等で進路や生き方を考えることができています。	19.7	38.9	31.4	9.8
13	私は、家族に学校での出来事をよく話している。	29.7	29.3	26.1	14.6
14	学校の施設は美しく整っていて過ごしやすく使いやすい。	10.8	32.7	41.4	14.9

【特徴】

- No1 No2の「学校が楽しい」「思いやり優しい気持ちで友達と仲良くできている」の評価が8割以上であるので、学校として肯定的に受け止めている。
- No3の「授業が楽しくわかりやすい」の肯定的な評価が過半数に達していない。
- No7の「先生は、命の大切さ、社会のルールを熱心に教えてくれる」の評価も7割を超える肯定的な評価である。
- No9の「話す相手場所に応じた言葉遣いができている」の否定的な評価が昨年比6.8%増加している。
- No11 No14の「清掃が行き届き、整美されている」「学校の施設は美しく整っていて過ごしやすく使いやすい」の否定的な評価がそれぞれ3.6%、12.2%増加している。生徒指導面の課題と比例している特徴がある。本校の大きな課題の一つである。

【結論】

- 「学校は楽しい」「友達と仲良くできている」の肯定的な評価が8割を超しているのは、基本的な学校の機能は果たしていると判断できる。「学力向上」を目標としている以上、「授業が楽しくわかりやすい」の評価が低い。日常の授業への創意工夫が今以上に重要となってくる。
- 生徒指導面での課題が多くなると学校教育の色々な面に影響が出てくる。例えば、清掃が徹底できなくなり、その結果学校内が少しずつゴミが目立ってくる。そうした規範意識が薄れていくことが大変心配である。また、他の人への迷惑を考えない生徒や自分さへよければよいという考えなど、道徳的な教育の必要を強く感じられる。

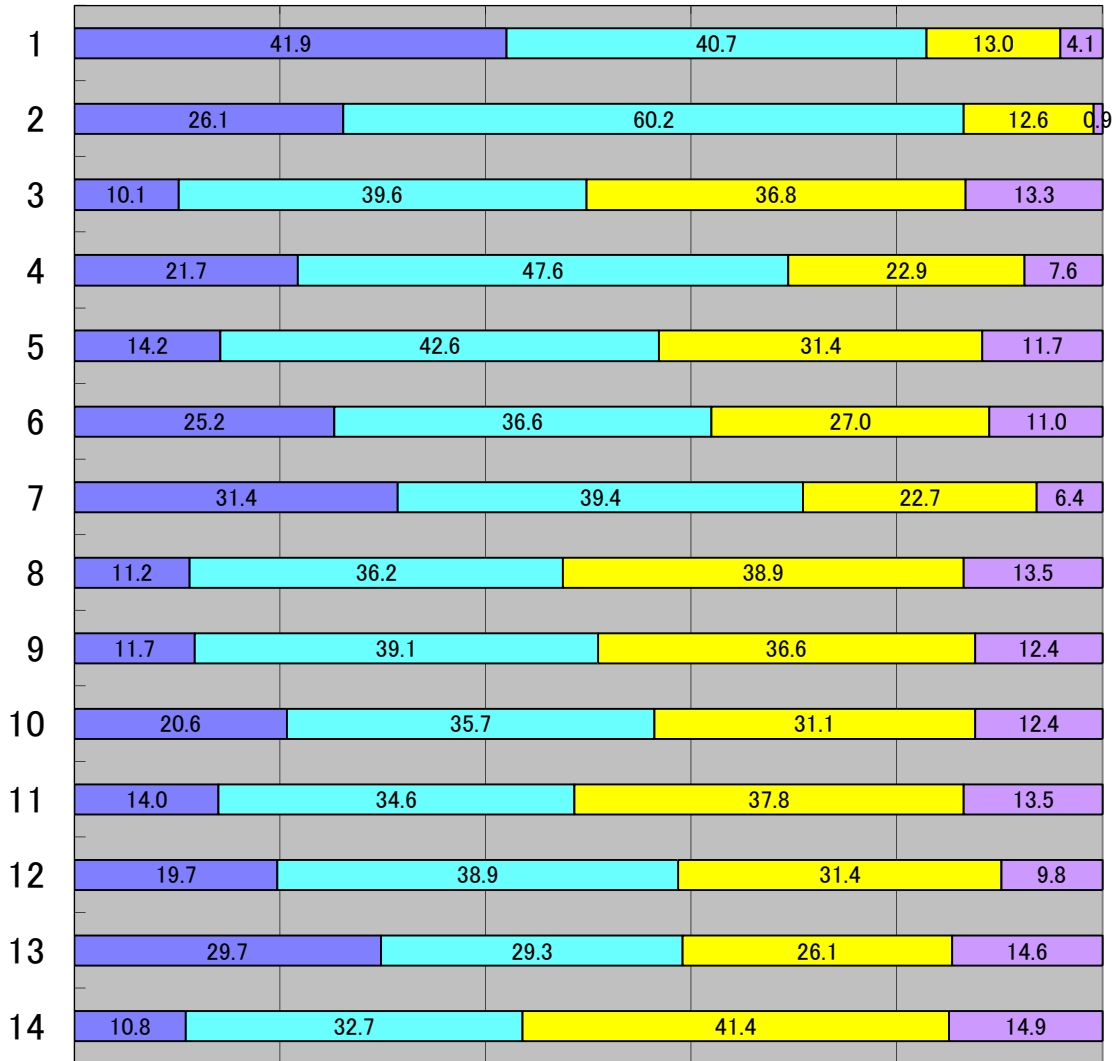
学校評価アンケート(生徒)

とてもそう思う
 そう思う
 あまりそう思わない
 まったく思わない

割合

0% 20% 40% 60% 80% 100%

項目番号



平成22年度 学校評価アンケート集計表(保護者)

◆回答数 360名(回収率75.5%)

4 とてもそう思う 3 そう思う 2 あまりそう思わない 1 まったく思わない

		(表中の数字は%)			
		4	3	2	1
1	教育目標方針実践内容課題等保護者地域に伝えている	6.1	50.0	37.8	6.1
2	子どもの活動の様子を保護者にわかりやすく伝えている	4.7	41.9	44.7	8.6
3	授業を工夫し、個に応じた指導を行っている	2.5	34.7	52.8	10.0
4	子どもの安全確保健康管理のための取り組みを行っている	10.0	55.6	30.0	4.4
5	イジメのない学校学級づくりに励んでいる	4.2	49.4	36.9	9.4
6	子ども一人ひとりが大切にされ認められる学校になっている	4.4	44.7	44.7	6.1
7	子どもが学習や生活について相談できる学校になっている	9.2	41.7	40.0	9.2
8	命を大切にす心社会のルールを守る態度を教育している	8.1	56.9	30.0	5.0
9	将来の進路や職業について適切な指導をしている	5.6	51.4	36.4	6.7
10	家庭地域は学校に対して役割を果たし、連携・協力している	5.8	48.9	40.0	5.3
11	学校施設は教育的配慮がなされ美しく使いやすい	6.4	49.4	37.2	6.9
12	子どもは毎日楽しそうに中学校へ通っている	32.8	55.8	9.4	1.9
13	子どもは学習がわかり基礎的な学力が身につけている	11.9	44.2	32.2	11.7
14	子どもは中学校での出来事をよく話している	20.0	40.0	30.3	9.7
15	子どもは誰にでもあいさつが出来る	22.8	50.0	23.6	3.6

【特徴】

- No2「子どもの活動の様子を保護者にわかりやすく伝えている」の評価が過半数近くが否定的で、No3「授業を工夫し、個に応じた指導を行っている」の否定的評価が6割を超えている。
- No6「子ども一人ひとりが大切にされ、認められる学校になっている」の約5割が否定的な評価である。
- No7「子どもが学習や生活について相談できる学校になっている」の否定的な評価が約半数である。

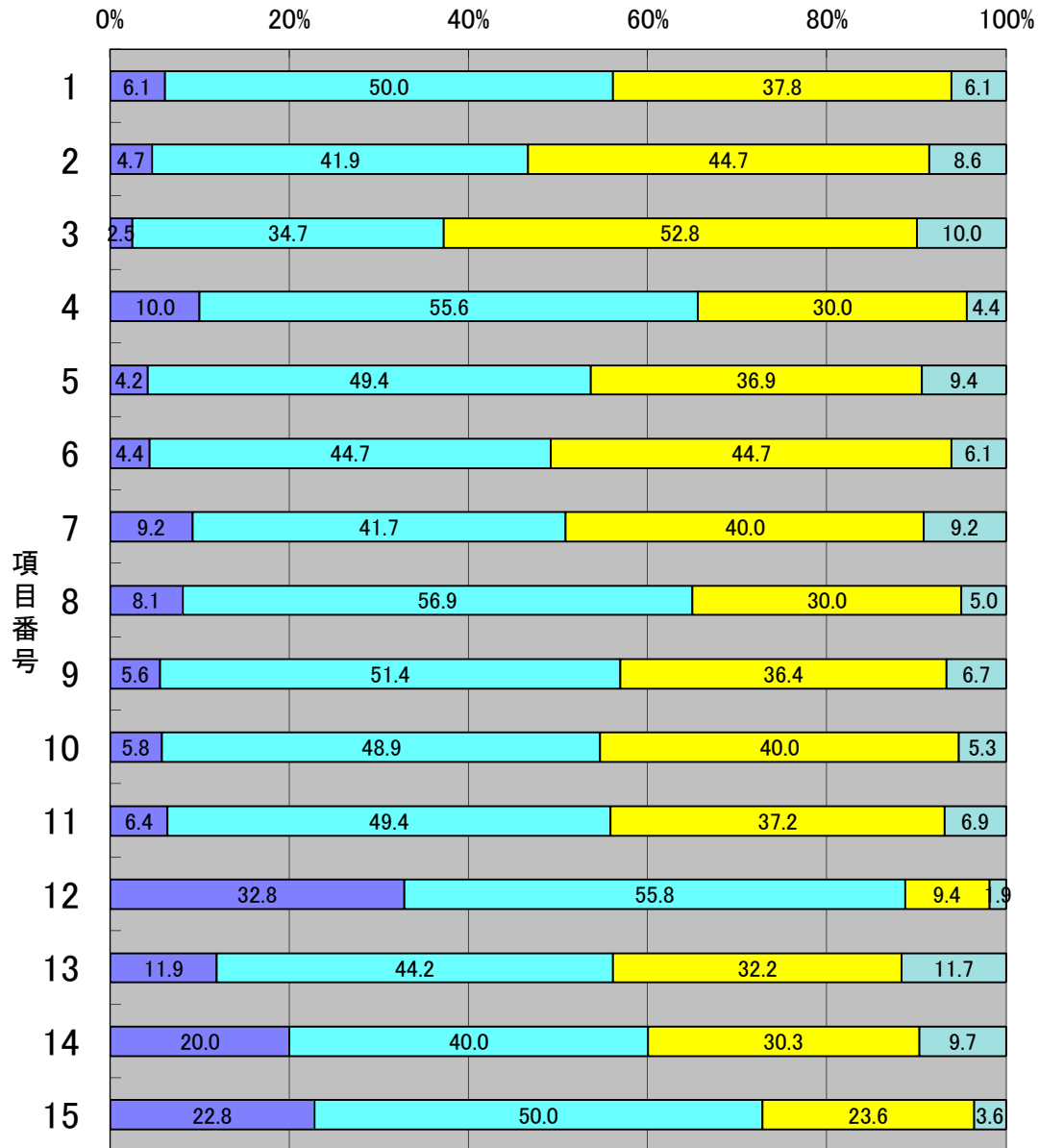
【結論】

- 本年度3年目の「学校評価」(外部評価)であるが、次年度に向けての課題も明らかになってきた。生徒指導面で課題があると他への影響が大きくなっている。一方、保護者が家庭での子どもの様子についての設問No12～15について、過半数を大きく超えているのが特徴で去年より割合が増加している。

学校評価アンケート(保護者)

とてもそう思う
 そう思う
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない

割合



平成22年度 学校評価アンケート集計表(教職員)

◆ 回収日 平成22年12月10日

◆ アンケート回答数 合計27名

4 とてもそう思う 3 そう思う 2 あまりそう思わない 1 まったく思わない

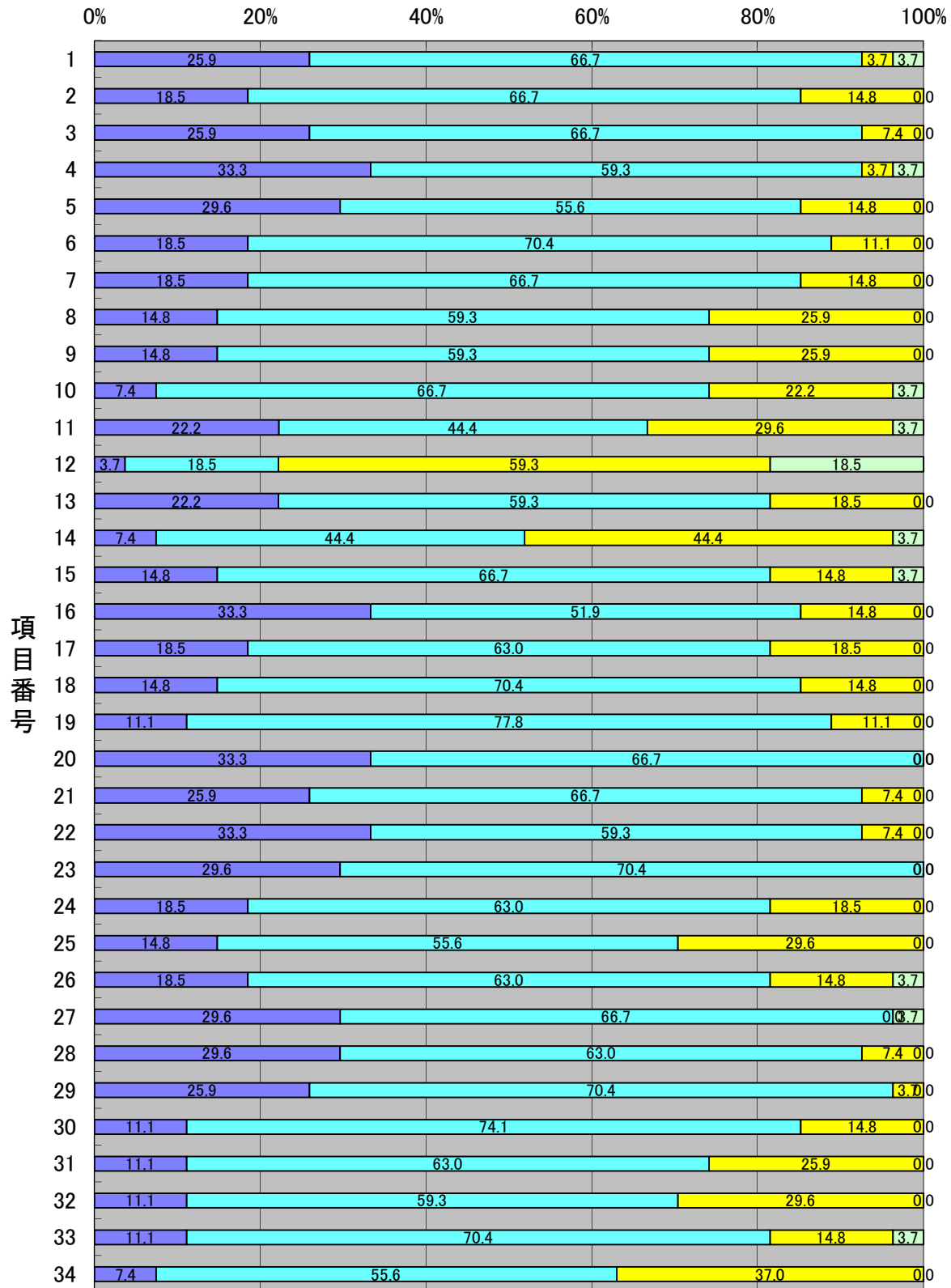
(表中の数字は%)

		4	3	2	1
教育目標	1	25.9	66.7	3.7	3.7
	2	18.5	66.7	14.8	0.0
教育課程	3	25.9	66.7	7.4	0.0
	4	33.3	59.3	3.7	3.7
教科指導	5	29.6	55.6	14.8	0.0
	6	18.5	70.4	11.1	0.0
	7	18.5	66.7	14.8	0.0
	8	14.8	59.3	25.9	0.0
道徳教育	9	14.8	59.3	25.9	0.0
	10	7.4	66.7	22.2	3.7
	11	22.2	44.4	29.6	3.7
	12	3.7	18.5	59.3	18.5
特別活動	13	22.2	59.3	18.5	0.0
	14	7.4	44.4	44.4	3.7
	15	14.8	66.7	14.8	3.7
人権・同和教育	16	33.3	51.9	14.8	0.0
	17	18.5	63.0	18.5	0.0
特別支援教育	18	14.8	70.4	14.8	0.0
	19	11.1	77.8	11.1	0.0
生徒指導	20	33.3	66.7	0.0	0.0
	21	25.9	66.7	7.4	0.0
	22	33.3	59.3	7.4	0.0
進路指導	23	29.6	70.4	0.0	0.0
安全教育	24	18.5	63.0	18.5	0.0
	25	14.8	55.6	29.6	0.0
	26	18.5	63.0	14.8	3.7
保健管理	27	29.6	66.7	0.0	3.7
組織運営	28	29.6	63.0	7.4	0.0
	29	25.9	70.4	3.7	0.0
学級経営	30	11.1	74.1	14.8	0.0
研修	31	11.1	63.0	25.9	0.0
保護者・地域との連携	32	11.1	59.3	29.6	0.0
	33	11.1	70.4	14.8	3.7
施設・設備	34	7.4	55.6	37.0	0.0

学校評価アンケート(教職員)

■ とてもそう思う
 ■ まあそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 思わない

割合



平成22年度 自己評価書

学校名 和歌山市立 河北 中学校

校長名 有本 晴彦

作成日

平成23年2月14日

学校教育目標

正しく判断し ねばり強く実践する 心豊かで たくましい生徒の育成

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力	
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を積極的に発信する。 ○保護者との信頼関係をさらに強化する。 ○地域から信頼される学校づくりにつとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○きめ細かな生徒指導に心がけるとともに校内体制のさらなる充実を図り、全教職員で取り組む。 ○朝の読書タイムを設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習規律の強化を図る。 ○指導方法の工夫改善を図り、基礎学力の充実に努める。 	
取組の具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の通信を発行し、教育活動の内容を積極的に発信する。 ○気になる生徒や長欠生に対し、きめ細かく家庭と連携を図る。 ○校区内巡視と小学校との連携や地域との情報交換をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種委員会などを利用して生徒の情報交換をきめ細かくおこない、職員全体の共通理解を図る。 ○毎月の登校指導や挨拶運動をおこなうとともに地域の協力もお願いする。 ○外部講師を招聘して、各種の特設授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイムとともに行動し、授業時数の確保に努める。 ○授業形態の工夫をおこなうとともに、興味関心のわく授業を心がける。 ○言語力を高めるための工夫や自ら考え記述できるテスト問題の作成などに心がける。 	
取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の通信便りを発行でき、学校からの情報発信ができた。 ○校区内小学校との情報交換などを通じて連携に努めることができた。 ○生徒指導面での諸課題が残った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内での情報交換で生徒への共通理解が深まった。 ○地域のボランティアや外部講師の招聘に努めることができた。 ○心の教育の充実に努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業形態・内容に創意工夫をこらすことができつつある。 ○学習規律を乱す面が一部にあったので、その解消に向け、さらなる取り組みを強めていきたい。 	
次年改善に方向けての	<ul style="list-style-type: none"> ○地域・保護者の理解と協力を得ながら、生徒指導面での諸課題解消に向けての取り組みを強めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心の内面に響く生徒指導の深化・研究に努めるとともに道徳面での指導強化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一層の学習指導・形態の創意工夫に努め、基礎学力の向上に教職員一致して取り組む。 	

その他学校運営についての課題や計画

○生徒指導面での諸課題解決に向け努力していかなければならない。すべての学校教育活動によくない影響を及ぼす一面があるので、生徒理解に努めるとともに毅然とした姿勢で指導を行っていききたい。さらに、地域の人々や保護者に学校教育への理解と協力を求めるとともに関係機関との連携を今年度以上に努めていきたい。

平成22年度 外部評価書

学校名 和歌山市立河北中学校

作成日 平成23年 2月18日

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力	
本年度の重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 地域への学校情報の発信は、学校だよりを通して十分に発信されている。 個人懇談会などを通して保護者との信頼関係を築く努力をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自らが進んで学校行事を運営している。 総合的な学習の時間や道徳の時間を利用して、一つの問題について掘り下げた話し合いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数編成授業の実施や副教材、学習プリントなどを使い、勉強に興味関心意欲を持たせる努力をしている。 	
取組の具体的方策に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 各クラス別に担任が作った学級だよりなどでクラスの情報をきめ細かく保護者に連絡する。 校区内の巡視を保護者やボランティアの人たちともっと積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校生やいじめに対して、直ぐに対処ができています。 教師に対する言葉遣いや態度の悪さ、制服の乱れが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> せっかくの少人数編成学級なのに、席がバラバラだったり、授業に集中できていない生徒が見かけられるのは残念です。もっと少人数授業の特色が出るような工夫が必要です。 	
取組の成果と課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 服装や授業態度に問題がある生徒に対しての有効な指導方法を考えなければならない。その一つとして、卒業生にアドバイザーになってもらい、教師とは違った目線で生徒と接してみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールを守れない生徒に対して、全職員が一丸となり、細やかな指導と情報交換が必要。 学級懇談会を定期的に行き、保護者同士の連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生徒の授業内容に対する理解を確かめ、より深めるためにも小テストを毎時間行うことが必要だと思う。 ノートや宿題の提出を義務づけることが、家庭での勉強へとつながっていくのでは？ 	
改善次年法度に対向する意見	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちに自分たちのクラス、学校という意識を持たせるために、教室内の掃除、整理整頓をきちんとさせる。カーテンを取り替えたり、壁を塗り替えたりPTAにも協力を願う。 	<ul style="list-style-type: none"> 来校者や地域の人々に対しての挨拶運動を強化する。 休憩時間に、担任が自分のクラスにとどまり、生徒と話をしたり、クラスの様子を観察する必要がある。(休憩時間中の問題行動などが広まりつつあるから) 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の声が小さく、生徒の方を見ないで黒板に字を書くばかりではなく、大きな声で元気よく、生徒の中に入って授業するようにこころがける。 	

その他学校運営の改善に関する意見

○授業中や放課後の生徒の行動に問題が多く見られます。教師・地域住民・保護者が協力し合い、校内外の巡視を強化する必要があります。生徒たちに、してはいけないことへの意識をしっかりと持たせなければならないと思います。それは一部の生徒だけの問題ではなく、他の生徒たちに与える影響はとても大きいと思われます。しかし、ただ悪いところばかりを正すのではなく、校内外の掃除や花植えなどの作業を通して、みんなで一緒に一つのことを成し遂げさせるのも一つの方法かと思います。